

## 2024年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年3月13日

東

上場会社名 株式会社トーエル 上場取引所  
コード番号 3361 URL https://www.toell.co.jp  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 孝治  
問合せ先責任者(役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 笹山 和則 (TEL) 045-592-7777  
四半期報告書提出予定日 2024年3月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年4月期第3四半期の連結業績(2023年5月1日~2024年1月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第3四半期	19,145	△6.1	1,499	3.6	1,888	14.6	1,282	19.2
2023年4月期第3四半期	20,399	11.9	1,447	35.7	1,647	28.9	1,075	31.5

(注) 包括利益 2024年4月期第3四半期 1,439百万円( 22.8%) 2023年4月期第3四半期 1,171百万円( 41.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第3四半期	63.24	—
2023年4月期第3四半期	53.03	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第3四半期	27,687	20,404	73.7
2023年4月期	26,353	18,742	71.1

(参考) 自己資本 2024年4月期第3四半期 20,395百万円 2023年4月期 18,736百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年4月期	—	0.00	—	—	—
2024年4月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年4月期の連結業績予想(2023年5月1日~2024年4月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,050	△2.9	2,170	1.4	2,260	△7.9	1,440	△9.2	71.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年4月期3Q	20,715,540株	2023年4月期	20,624,040株
② 期末自己株式数	2024年4月期3Q	403,574株	2023年4月期	397,674株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年4月期3Q	20,274,653株	2023年4月期3Q	20,276,038株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

以下に記載する事項のうち将来に関する事項は、当四半期連結累計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、社会経済活動の正常化が一段と進み、景気は緩やかな回復傾向で推移いたしました。しかしながら、ウクライナ情勢に加えイスラエル・ガザ紛争により、資源価格の高騰、為替相場の急激な変動など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の下、エネルギー事業においては、引き続き公正な判断に基づく適正且つ安価な価格を既存のお客さまに提供しながら顧客開拓を推進すると共に、利益の確保に努めました。また、災害時に復旧が早いLPガス設備を積極的に提案するなど継続的な事業基盤の確立を着実に進めました。ウォーター事業においては、拡大するウォーター需要への備えとして安定稼働を図るため管理体制の強化を進めております。また、高品質な天然の原水をコンセプトとした自社ブランドをより一層浸透させる為の差別化戦略に尽力し拡販に注力しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,145百万円(前年同期比6.1%減)、営業利益は1,499百万円(前年同期比3.6%増)、経常利益は1,888百万円(前年同期比14.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,282百万円(前年同期比19.2%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次の通りです。

#### ① エネルギー事業

飲食店をはじめとする業務用需要が回復傾向にありますが、平均気温の上昇による単位消費量の減少により販売数量が減少したことで、売上高、セグメント利益ともに前年同期を下回りました。小売業界におけるお客さまの争奪戦は激しさを増している状況ですが、当社はこの過当競争を勝ち抜くため、独自の物流システムによるコスト削減などで適正且つ業界平均と比べ安価な価格での販売に努めると共に、自社配送の利点を生かしたお客さまとのリレーションシップ強化等により事業基盤の拡大に努めております。更に自社物件は勿論のこと関東一円を対象にバルク交換を受注することで、収益向上とともに配送の合理化に資する体制を確立しました。また、電力、都市ガスを含めたエネルギー自由化競争に対しては、総合エネルギー事業者としてあらゆるお客さまのニーズに応える供給体制を整えるため、既存の「ガス」、「ウォーター」というライフライン領域に「TOELLでんき」「TOELL光LINE」を加え4事業をセットにした「TOELLライフラインパッケージ」の提案により既存のお客さまの取引拡大と新規のお客さまの開拓に努めました。また、災害時の電力確保が可能な電源自立型GHP(ガスヒートポンプ)エアコンやLPガス非常用発電機の提案を強化することで更なる事業基盤の強化を推進しました。

この結果、売上高は14,013百万円(前年同期比8.9%減)、管理部門経費配賦前のセグメント利益は1,594百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

#### ② ウォーター事業

オフィス向け等法人需要が回復傾向にあること、また新規顧客開拓にも注力し、販売本数が増加したことで増収となりました。利益面では円安による全般的なコスト増加があるものの、固定費削減や減価償却費の減少など製造原価の低減により増益となりました。

ボトルウォーター市場は、より美味しい水を嗜好するお客さまの増加や首都圏を中心としたマンションの高層化に伴う宅配サービスのニーズ増加により年々拡大傾向にあります。当社はそれらの需要に対応すべく生産体制を強化し、安定供給に努めました。

また、自社配送によるコスト削減とサービス向上に努め、お客さまの開拓を進めました。具体的には多種多様な広告媒体の活用、インターネットによる受注の他、TOELLライフラインパッケージの拡販強化に尽力してまいりました。お客さま専用インターネットサイト「マイページ」の利用促進にも引き続き注力し、お客さまの利便性向上を図ると共にペーパーレス化による環境への取り組み、業務の効率化を進めてまいりました。差別化戦略として、高品質な天然の原水をブランドコンセプトとしたピュアウォーターの「アルピナ」「Pure Hawaiian」、北アルプスの天然水そのものをボトリングした「信濃湧水」、3つのブランドを展開し、リターナブル、ワンウェイ2種

類のウォーターサーバー専用ボトルを取り揃えることで様々なお客さまのニーズに対応しております。Oahu Factory（ハワイ工場）では持ち運びに便利な「Pure Hawaiian」のミニボトルを製造し、インターネットによる通販を中心に国内販売を強化しております。更に本商品は複数の大手航空会社ハワイ便の機内用飲料水としてもご採用いただいております。ハワイに高い関心をお持ちの方々をターゲットに商品の認知度向上を図り販売促進につなげてまいります。「高濃度水素水サーバー」が作り出すいつでもできたての水素水は、水素溶存濃度4.1ppmの製品優位性で差別化を図り、ボトルウォーター業界のみならず異業種分野への開拓も進めております。海外展開については日本の美味しい水に対するニーズは高く、引き続き販路拡大に向けて取り組んでまいります。

この結果、売上高は5,131百万円（前年同期比2.2%増）、管理部門経費配賦前のセグメント利益は1,115百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

財政状態につきましては、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ736百万円増加し、27,687百万円となりました。この主な要因は、無形固定資産のその他が342百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ366百万円減少し、7,282百万円となりました。この主な要因は、借入金が296百万円減少したこと等によるものであります。

また、自己資本比率は73.7%となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月期通期の業績予想につきましては、現時点では、2023年6月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、気候変動やC P 価格及び円／ドル為替の動向などの不確定な要素があり、今後業績予想に関しては修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,561,823	5,430,234
受取手形及び売掛金	4,101,128	4,394,963
商品及び製品	1,439,377	1,277,857
仕掛品	1,032	7,099
貯蔵品	344,790	385,300
その他	170,157	392,574
貸倒引当金	△9,229	△10,932
流動資産合計	11,609,080	11,877,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,870,464	3,834,668
機械装置及び運搬具（純額）	1,488,201	1,623,527
土地	6,340,721	6,349,763
リース資産（純額）	1,005,343	1,004,110
その他（純額）	414,102	321,307
有形固定資産合計	13,118,832	13,133,377
無形固定資産		
営業権	33,933	33,703
その他	460,060	802,655
無形固定資産合計	493,993	836,359
投資その他の資産		
その他	1,882,636	1,994,635
貸倒引当金	△154,005	△154,072
投資その他の資産合計	1,728,631	1,840,563
固定資産合計	15,341,457	15,810,300
資産合計	26,950,537	27,687,396

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,036,443	2,508,157
1年内返済予定の長期借入金	351,738	184,853
未払法人税等	450,405	194,463
賞与引当金	199,853	104,770
役員賞与引当金	50,000	36,000
その他	2,084,735	1,895,821
流動負債合計	5,173,175	4,924,065
固定負債		
長期借入金	184,844	55,000
役員退職慰労引当金	5,583	5,583
退職給付に係る負債	647,908	656,511
その他	1,637,687	1,641,782
固定負債合計	2,476,023	2,358,877
負債合計	7,649,199	7,282,943
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	852,699	886,828
資本剰余金	1,061,843	1,095,973
利益剰余金	17,256,336	18,133,921
自己株式	△360,699	△360,699
株主資本合計	18,810,179	19,756,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	329,406	386,460
為替換算調整勘定	144,562	246,203
退職給付に係る調整累計額	10,399	7,249
その他の包括利益累計額合計	484,368	639,913
非支配株主持分	6,790	8,515
純資産合計	19,301,338	20,404,453
負債純資産合計	26,950,537	27,687,396

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)
売上高	20,399,607	19,145,076
売上原価	12,543,524	11,209,155
売上総利益	7,856,083	7,935,920
販売費及び一般管理費	6,408,133	6,436,113
営業利益	1,447,949	1,499,806
営業外収益		
受取利息	850	1,213
受取配当金	12,740	15,248
賃貸収入	24,814	24,782
スクラップ売却収入	74,966	78,376
為替差益	20,076	90,531
消耗品売却収入	13,034	120,761
その他	87,493	89,569
営業外収益合計	233,976	420,483
営業外費用		
支払利息	14,438	11,018
賃貸費用	15,296	15,401
その他	4,320	5,133
営業外費用合計	34,055	31,553
経常利益	1,647,870	1,888,736
特別利益		
固定資産売却益	5,124	52,367
特別利益合計	5,124	52,367
特別損失		
固定資産売却損	69	520
固定資産除却損	5,071	3,672
特別損失合計	5,141	4,192
税金等調整前四半期純利益	1,647,854	1,936,911
法人税、住民税及び事業税	518,692	599,775
法人税等調整額	54,356	54,491
法人税等合計	573,049	654,266
四半期純利益	1,074,804	1,282,645
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△525	532
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,075,330	1,282,113



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)
四半期純利益	1,074,804	1,282,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78,420	57,053
為替換算調整勘定	21,295	102,834
退職給付に係る調整額	△2,636	△3,150
その他の包括利益合計	97,079	156,737
四半期包括利益	1,171,884	1,439,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,172,163	1,437,658
非支配株主に係る四半期包括利益	△278	1,724

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前年同四半期連結累計期間において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「保険解約返戻金」は金額的重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。

また、前年同四半期連結累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めておりました「消耗品売却収入」は、金額的重要性が増したため、独立掲記しております。

これらの表示方法の変更を反映させるため、前年同四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前年同四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「保険解約返戻金」に表示していた37,654千円は、「営業外収益」の「その他」として組替えており、「営業外収益」の「その他」に表示していた62,872千円は、「営業外収益」の「消耗品売却収入」13,034千円、「営業外収益」の「その他」87,493千円として組替えております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エネルギー 事業	ウォーター 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	15,377,816	4,555,794	19,933,610	—	19,933,610
その他の収益	—	465,997	465,997	—	465,997
外部顧客への売上高	15,377,816	5,021,791	20,399,607	—	20,399,607
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,377,816	5,021,791	20,399,607	—	20,399,607
セグメント利益	1,675,432	967,250	2,642,683	(1,194,733)	1,447,949

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,194,733千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エネルギー 事業	ウォーター 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	14,013,452	4,695,211	18,708,663	—	18,708,663
その他の収益	—	436,412	436,412	—	436,412
外部顧客への売上高	14,013,452	5,131,623	19,145,076	—	19,145,076
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,013,452	5,131,623	19,145,076	—	19,145,076
セグメント利益	1,594,290	1,115,848	2,710,138	(1,210,331)	1,499,806

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,210,331千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。